

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 田園調布学園 中等部・高等部 (※正式名称を記載)  
種 別  中学校  高等学校

所在地 〒158-8512  
東京都世田谷区東玉川 2-21-8

E-mail shigemori@chofu.ed.jp  
Website http://www.chofu.ed.jp

生徒数 女子(中等部) 625名 女子(高等部) 604名 合計 1229名  
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～18歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要と詳細

#### ① 教科での取り組み (毎年継続事項)

保健体育

中等部 2 年 後期 環境学習

環境と健康について、環境変化への体の適応と、環境の変化に対する心身の対応を理解し、健康管理に活かす。変化する環境問題に関連し、生涯にわたり、健康を維持していく知識を習得するために、安全な飲料水の供給を、調べ学習を通して現在の環境問題に触れる。

#### ② 宿泊行事での取り組み (毎年継続事項)

中等部 1 年

体験学習 (志賀高原) 実施期間

事前学習として 6 月から HR の時間を使い、志賀高原や長野県について班ごとに動物・植物・気象・地質など様々な角度からその自然環境について調べ学習に取り組みせ、理解を深めた。ワークシートを活用し、班ごとにテーマを決めて、下記の通り、調べ学習にあたった。

- ① 志賀高原の地形 (ユネスコパーク)
- ② 志賀高原の動物
- ③ 志賀高原の動物
- ④ 長野の歌 (中山晋平・高野辰之)
- ⑤ 小布施・葛飾北斎・岩松院
- ⑥ 志賀高原とスキー

提出されたものは、委員の生徒が整理して掲示した。

## 実施体験

計画通りに進行し、事前学習の成果とつなげることができた。今年度は志賀高原がユネスコエコパークに登録されている点を生かし、池めぐりや自然観察などに取り組むことができた。事前に志賀高原についての説明を受け、当日はガイドの方と共に歩いた。コースは従来と大きな変更は無いが、各クラス丁寧に観察にあたることができた。訪れる地域の性格をしっかりと学習することの重要性を、再認識することができた。

## 高等部1年生

九州学習体験旅行（別途資料を郵送いたします）

### ③生徒会活動での取り組み

#### 環境委員会

##### ・エコキャップ回収運動

リサイクルルームで回収したペットボトルキャップをまとめ、株式会社ウッドプラスチックテクノロジーに引き取ってもらった。毎年相当数が回収できているので、この活動に対して生徒たちは自然に無理なく取り組んでいることがうかがえ、今後も継続していきたい。

##### ・校内清掃用具点検

清掃用具の定期点検を実施した。より学校環境を整えるために、故障した掃除機をすみやかに交換するなどこころがけ、生徒の清掃に対する意識も高いと考えられる。

##### ・校内のゴミ分別確認

日常のゴミ分別状況の確認は継続しておこなっている。分別に関して大きな問題となることは年間を通じてなかった。

##### ・なでしこ祭（文化祭）でのゴミ回収・分別

2日間の文化祭で排出されるゴミの分別・回収について、委員が率先して動き、大きな混乱無く終了することができた。委員の負担が過重となっている現状には改善の余地があるものの、当日は仕事をかかえている生徒がほとんどで、生徒がスムーズに回収・分別できるよう工夫していきたい。

##### ・外部（他校）との交流

前年度から継続して、世田谷区でユネスコスクール加盟校との交流を深めることができた。共同ボランティア企画（使わなくなった子ども服を集め海外に送る活動）を実施した。来年度以降も継続して実施したい。

##### ・フードロスの取り組み

SAGE ジャパン主催のコンテストに本校生徒が参加し、その際に掲げた「フードロス」のテーマを学校内でも実施した。最初は、参加した高等部生徒が校内で販売できないバナナを青果店から譲り受け、地元のベーカリーにお願いして、バナナマフィンを校内で限定販売した。その後、9月末のなでしこ祭（文化祭）では、余った餡子を業者から譲り受け、同ベーカリーに依頼し、あんデニッシュなどを

販売し、売り上げの一部をユニセフに寄付した。生徒が環境問題に関するアイデアを出し、校内で実践に移すことは、今後もサポートしていきたい。

・高校生環境サミットへの参加

11月23日に都立つばさ総合高等学校で開かれた環境サミットに参加し、上記の生徒会活動やフードロスの取り組みなどを展示・発表を行った。他校生徒に環境問題や食糧問題について本校生徒が発信する良い機会を得た。

④日常の取り組み

・落ち葉はき

捨我精進の精神を常に抱き、周辺地域と共に心地よく生活が送れることを考え、学校生活の充実と環境美化の推進を目的とする。

平成29年11月21日(月)～12月5日(月)通常清掃時実施

1回の活動生徒数を10名程度とし、担任の指示・指導により学校周り及び西村庄平記念広場を重点に実施。

[実施分担]11月～12月上旬

中等部1年生、中等部2年生、中等部3年生が担当

\*実施期間を落ち葉の時期を考慮して設定するとともに、担当学年の負担を考慮して割り当てを行った。予定していた担当以外にボランティアで参加した生徒も大勢いた。

朝掃除 始業式(4/4)～修了式(3/20)まで、授業などある日は毎日実施

本校教育理念の「捨我精進」の精神を実践すべく、周辺地域に対しても、生徒たち自身も日々の生活を気持ちよく過ごすために環境美化に努め、環境教育の一環とする。

- ・外掃除…校舎の周り、正門・通用口など出入り口、昇降口
- ・内掃除…校舎1階の出入り口、プラザ、生徒ラウンジ
- ・外掃除…竹ぼうきなどを使い、敷地内、公開空地、歩道そして近隣住宅の道路ゴミや落ち葉を集める。
- ・内掃除…扉や窓の雑巾がけ、生徒ラウンジのテーブルの布巾がけ、プラザのモップがけ、カーペットに付着したわたぼこり等を掃除機できれいにし、廊下をほうきで清掃する。

一昨年度より季節条件などを考慮し、各クラスが一週間を目処に交代であたるように変更した。今年度も混乱は無かったので、次年度の当該学年引継ぎ・申し送り予定である。

※外掃除・内掃除とも、7:50清掃区域に集合する。

※終了時刻は8:15とする。

- ・外掃除・内掃除とも積極的に取り組んだ。

⑤教員の取り組み

本校では教職員でEMS委員会(田園調布学園中等部高等部環境マネジメント

システム)をつくり、環境への意識の向上に努めている。総務部が中心となって定期的に職員室内の整理整頓の意識喚起、確認を行った。紙の使用量などデータで把握し呼びかけを行うと共に、リサイクルボックスを整備し、廃棄の手順を整えた。

その他(2017年度にあったこととして)

国立蘭陽女子高級中学(台湾)との交流 2017年11月5日(火)

今回の来校は、一昨年に本校に来校した宜蘭青少年国楽団(台湾)コーディネーターの依頼で実現した。国立蘭陽女子高級中学(台湾)の海外プログラム(日本の修学旅行や研修旅行に当たる企画)の一環として、本校に来校した。当日は高校生を中心に約30名が来校し、昼食会の他にも、放課後の時間を利用して、交流を深めることができた。

## (2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

### ア. 活動分野(複数選択可)

1. 環境     2. エネルギー     6. 国際理解、文化多様性

### イ. 活動を通して育みたい資質や能力(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

### ウ. 活動時間(複数選択可)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

## ●活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。(※別途郵送でも可)

- その他(高等部2年生 学習体験旅行 文集 )

高等部1年生が年度末に実施している学習体験旅行の文集を郵送いたします。